

チャレンジ!! オープンガバナンス 2016

裾野の魅力と誇り、考え伝えよう!

「SUSONO NIGHT MUSEUM」

【課題】裾野市で発信できる情報が少ない。→

仮説:夜の裾野が暗すぎる、工場が多すぎる情報発信にうまく利用できないか

【誰が実施するか】プロモーションビデオを作れる学生、地域の人、協賛企業

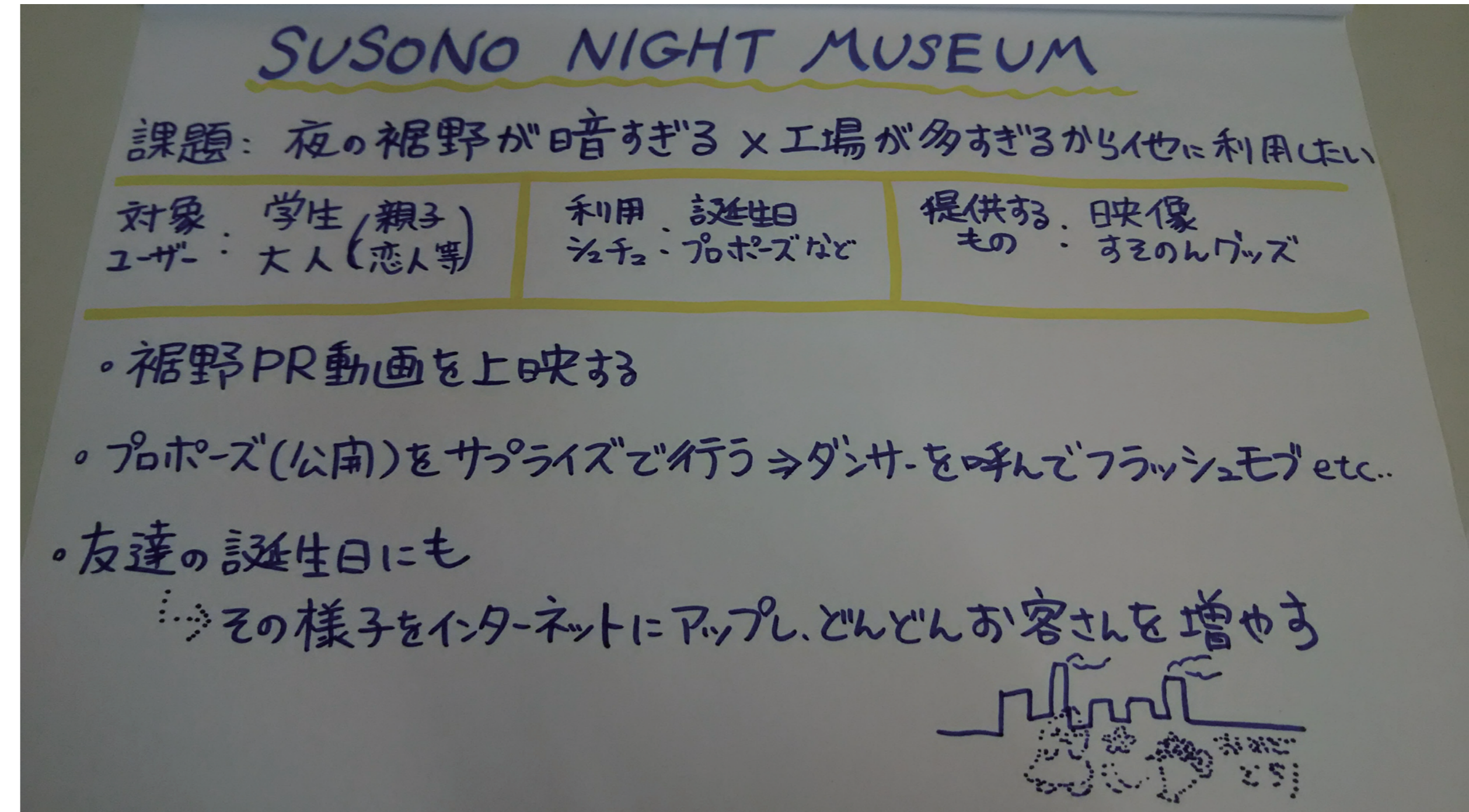
【誰に対するサービスか】学生、大人(恋人、親子)

【概要】裾野市のPR動画、サプライズ映像を、工場の壁にプロジェクションマッピングする。

価値:今まで利用されていなかった(価値が発生していなかった)夜の空間に、新たな価値を追加できる。動画作成、広告作成を通じて、市民にクリエイティブな産業を提供できる。

詳細:

- 暗い工場の壁に、いろいろな映像をプロジェクションマッピングする。裾野のPVや、イベントの画像なども。持込で流したいときには(プロポーズ、サプライズなど)別途料金を取ったり、作成込みの場合は、さらに料金を設定する。→今後、動画による学生企業家の発生、クリエイターの育成につなげる。
- 地元の人たちが生活の中で裾野のよいと思っるところを素直に表現できるようにPV作成会、PV勉強会などを開催し、動画作成能力も高める。
- 工場だけでなく、裾野に沢山ある池面に富士山や自然を投射する、秋の稲田に地元の花火大会の様子を映す、駅前夜のショーウィンドウにPV動画を配信するなど、小さなところ、地元のお祭りとも連携し、各所に名所を作る。→よさこいのチームのように、地域ごとのPVチームを作り対抗戦をすることで裾野各地のよいところをどんどんPV化、PVバトルによるイベント興行へ繋げる。
- 市内の人でまずは、情報展開して、イベント(広告)を広める。地元新聞にも取り上げてもらい、首都圏への情報展開する。
- 会場では、裾野の名産物やグッズも販売する。



↑ アイディアシート

● やりたいこと

- PVバトルを開催することで、自分の作品を評価できるようになり、自発的に市アピールPV作る人が増える。また、技術力の向上、アイデアのブラッシュアップができる。
- アイデアを出した中学生自身が、裾野市のPVを自作しているなど、若者との親和性が高い。
- 将来、裾野市のすべてのフィールドを、動画やPVと絡めた土地に昇華できる可能性を秘めている。
- 何も無い土地だからこそ、よいところを上乘せするという逆転の発想である。

● 裏付け

調査項目

確認項目	出典	数値/効果
機材の値段	Canon.jp	600,000円
裾野の工場の数	商工業統計の大規模事業者	7社
裾野周辺に存在する既存の交通機関	鉄道、バスの路線	電車:御殿場線、東海道線 バス:沼津・三島
裾野周辺に来る観光客 伊豆地域の観光の現状と可能性	環境省富士箱根伊豆国立公園 富士山登山者数調査結果	6000人/日

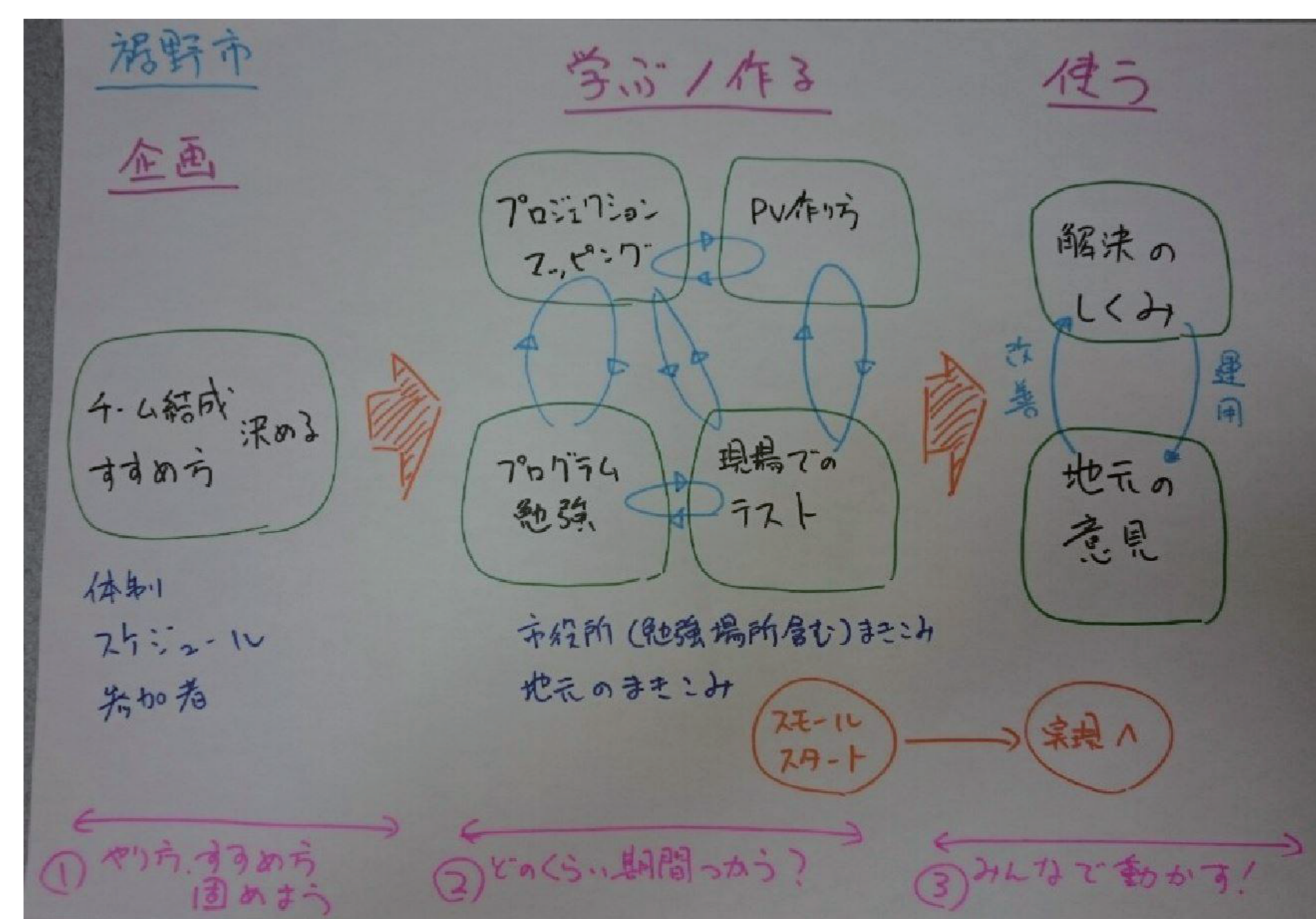
- 1回のイベントで200人呼ぶことを想定。会場の電気光熱費・バス代などの経費を抜いて約10万円程度利益が出る予定。チケット代は、子供、学生、大人で分け大人でも2,000円と価格はリーズナブル。(映画同等の金額で対応できる)
- プロジェクターは60万を想定しているが、年6回イベントをまわすことで2年目には黒字化する。
- 地元からの来客数: 5割
地区のお祭りでも屋台のストックとして300人分程度用意している。
イベントでは100名程度は来る想定で計算。
周辺自治体の来客数: 3割(沼津、三島、長泉、清水町、御殿場より、各市町村から60名を想定
静岡東部は、経済エリアとしては一体化しているため、イベントの際にはある程度参加が見込める。
首都圏から来るの来客数: 2割(イベント化して高速バスを1~2台分確保する。
- プロジェクターについては、地元企業であるCanonにも協力できないか要請する。

● 実現に向けて

【期間】2年間ぐらいかけて、県外の来客を増やす計画。

【概略】

- PVを市民で作ってもらう(勉強会なども開催)
- 地区ごとでの対抗戦を開催
まずは、地区ごとにPVを作れるチームを開拓し、根付かせる。
学校の放送部、演劇部などもターゲットとする。
<半年> 校舎の壁を利用してプロジェクションマッピングイベント実施
地元の住民を巻き込んで、イベントの周知と、投票を組み合わせることでNo.1を決定していく。目的は、話題づくりと地元住民の巻き込み。
<一年>
• イベント結果を市役所にも報告する。
市のHP,FBでの告知(地域観光課、広報公聴課、市民連携室と連動)
Susono Timesへの掲載
SNSへの展開を地区ごとの参加者にも依頼する。
<二年>
• 一般参加者を加えたNo.1決定戦をイベント化し、メディアにも発信する。
• 地元の映像のプロにPV作成、監修してもらう(宣伝用PV)
• 企業にもスポンサー協力のため話をする。
• 県外からの来客の増加につなげる(地域観光課、観光協会とも連携、シャトルバスの設置)



← 地域や企業と協力し進めるプロジェクトのイメージ図

↓ プロジェクションマッピング開発図

